

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年7月14日～2016年7月20日)

平成 28 年(2016 年)7 月 22 日

H E A D L I N E S

政治

与党「法と正義」、世論調査で支持率第一位を維持
 ポーランドのテロ脅威レベル引き上げに関する内務行政大臣の発言
 ポーランドMiG-29 NATO領空警備支援任務のための演習に参加予定
 シドゥウォ首相とメイ英国首相との電話会談
 ニースにおけるテロ事件を受けた当国要人の弔意メッセージ
 ヴァシチコフスキ外相とジョンソン英国外相との電話会談
 シドゥウォ首相の第11回アジア欧州会合(ASEM)首脳会合出席
 トルコにおける軍部の一部による蜂起についてのドゥダ大統領発言
 マチュレヴィチ国防大臣、少尉任官式に出席
 ヴァシチコフスキ外相と中国全人代外交委員会メンバーとの会談
 ヴァシチコフスキ外相とクプチナ・ベラルーシ外務次官との会談
 下院国防委員会の開催

経済

AIIB理事へのポーランド人の就任
 中央銀行理事の任命
 ポーランド政府、年金受給開始年齢引き下げに関する大統領法案に前向きな評価
 中央銀行の経済分析
 フィッチ社はポーランドの格付け維持
 6月の平均賃金上昇率
 外国在住ポーランド人による送金額が拡大(2016年第一四半期)
 Solaris 社がインド企業とバス生産合併会社立ち上げへ
 ポーランドのイノベーション能力評価
 大統領が燃料輸入の VAT 徴収強化に向けた新法に署名
 PGE・EJ1社チホシュCEOが辞任

大使館からのお知らせ

ポーランド:世界青年の日開催に伴う注意喚起
 パスポートダウンロード申請書のご案内
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ
 大使館広報文化センター開館時間
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内政

与党「法と正義」、世論調査で支持率第一位を維持【21日】

21日に発表された調査機関 Millward Brown 社の世論調査結果(対象1,002名)では、与党「法と正義」(PiS)が33%を得て支持率第一位を維持した。この他の政党は、市民プラットフォーム(PO)が19%、近代(.N)が18%、クキス7'15が7%の支持を獲得した。

ポーランドのテロ脅威レベル引き上げに関する内務行政大臣の発言【21日】

ブワシュチャク内務行政大臣は、マウオポルスキェ県クラクフ市における「世界青年の日」開催を前に、ポーランド国内におけるテロ脅威レベルを ALFA(レベル1)及びサイバー空間における脅威レベルを BRAVO(レベル2)に引き上げた旨述べるとともに、同措置は確たる脅威情報に基づく措置ではなく、予防的措置である旨説明した。ALFA が導入されたことにより、行政機関は公的施設や不特定多数が集まる場所等における警備をさらに強化し、不審者及び不審物等にこれまで以上に注視することとなる。

外交・安全保障

ポーランドMiG-29 NATO領空警備支援任務のための演習に参加予定【13日】

13日、統合全般司令官ロジャンスキ中將は、8月下旬から実施予定であるヤストルザブ16演習について明らかにし、同演習は、ブルガリア等NATO南方境界の領空警備支援任務(今秋開始予定で、ORLIK-Bと呼ばれる)のための能力向上を目的に、MiG-29等が参加する予定である。

シドゥウォ首相とメイ英国首相との電話会談【15日】

19日、シドゥウォ首相は、新任のメイ英国首相と電話会談を行い、英国のEU離脱後の二国間協力、将来のEU・英国関係について意見交換を行った。また、英国在住ポーランド人の権利の保障の重要性について強調するとともに、両国が今後のEU・英国関係に関する現実的な解決策を模索する旨述べた。

ニースにおけるテロ事件を受けた当国要人の弔意メッセージ【15日】

15日、ドゥダ大統領は、仏ニースで起きたテロ事件を受けて、仏国民に対し弔意を表すると共にテロ行為を非難した。また、シドゥウォ首相およびヴァシチコフスキ外相も同じく弔意及び一般市民を標的にした暴力に対する非難の意を表明した。また、20日、外務省はこの事件の犠牲者84名中にポーランド人が2名含まれていたことを確認し、遺族に対し弔意を表した。

ヴァシチコフスキ外相とジョンソン英国外相との電話会談【15日】

15日、ヴァシチコフスキ外相は、新任のジョンソン英国外相と電話会談を行った。ジョンソン英国外相は、英国がEUを離脱しても欧州内の一国である旨

強調し、ポーランド人を含めた英国在住のEU国民の権利を保証する旨述べた。

シドゥウォ首相の第11回アジア欧州会合(ASEM)首脳会合出席【15日】

15日～16日、シドゥウォ首相はウランバートルにて開催された第11回ASEM首脳会合に出席し、その機会に、モンゴル、ベトナム、シンガポール、フィンランド、スイス及びリトアニアの首脳と二カ国会談を行い、主に経済関係について意見交換を行った。同首相は、一連の会談においてポーランドの地理的優位点を強調し、欧州とアジアを最短距離で結ぶ中国・成都—ウッチの鉄道路線及びグダンスク港につきアジアの諸国に紹介するとともに、欧州首脳とは、BREXIT、NATO首脳会合及び続発するテロに関して意見交換を行った。

トルコにおける軍部の一部による蜂起についてのドゥダ大統領発言【17日】

16日、ドゥダ大統領は、トルコの軍部の一部による蜂起について、NATO同盟国であり、難民問題等で重要な役割を果たしているトルコの情勢の正常化を望む旨発言した。

マチェレヴィチ国防大臣、少尉任官式に出席【17日】

17日、マチェレヴィチ国防大臣は、予備役から少尉に昇任する、少尉任官式に出席し、ポーランド軍の近代化とともに、階級の重みが増してきていると述べた。また、同大臣は、ポーランドは、陸軍、海軍、空軍、特殊部隊に並ぶ5個目の軍である領域防衛軍を創設しようとしており、その軍で役割を担う人もいるだろうと強調した。

ヴァシチコフスキ外相と中国全人代外交委員会メン

バーとの会談【19日】

19日、ヴァシチコフスキ外相は、ワルシャワにて中国全人代外交委員会メンバーと会談し、習近平国家主席のポーランド訪問、二国間協力、特に安全保障に関連した国際情勢等について意見交換を行った。

ヴァシチコフスキ外相とクプチナ・ベラルーシ外務次官との会談【19日】

19日、ワルシャワにてヴァシチコフスキ外相は、クプチナ・ベラルーシ外務次官と会談を行い、二国間関係について意見交換し、マケイ・ベラルーシ外相へのポーランド招待の意向を改めて伝えた。また、20日、二国間政策協議が行われ、教育分野での二国間協力文書への署名が行われた。

下院国防委員会の開催【19日】

19日、下院国防委員会が開催され、2013年から22年までの軍近代化計画、UAV・装甲車・多用途ヘリ・防空システム・領域防衛の調達計画、政府専用機(航空機とヘリ)等について議論された。

会議終了後、コブナツキ国防副大臣は、50機の多用途ヘリのオフセット交渉が難航していること、弾道ミサイル防衛計画(ビスワ計画、ナレフ計画)交渉が遅延していること、前政権の作成した軍近代化計画は実現困難であるため、2017年から19年までの修正軍近代化計画を作成するタスクチームを編成し、2ヶ月以内に説明すること、またその修正計画の重視5項目は、防空システム、海軍、サイバー防衛、戦車・装甲車、領域防衛となることを説明した。

経 済

経済政策

AIIB理事へのポーランド人の就任【18日】

ポーランドが6月に加盟したアジアインフラ投資銀行(AIIB)の理事にラドスワフ・ピフェル(Radoslaw Pyffel)ポーランド・アジア研究所長が、原加盟国である英国、スイス、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、アイスランドからの支持を得て就任した。

中央銀行理事の任命【19日】

ドゥダ大統領は、アンジェイ・カジミエルチャク氏を中央銀行の理事に任命した。66歳の同氏はワルシャワ経済大学で現在教鞭を執る傍ら2010年から金融政策委員会委員を務めている。

ポーランド政府、年金受給年開始年齢引き下げに関する大統領法案に前向きな評価【19日】

19日、ポーランド政府は、閣議にて、ドゥダ大統領が提出した年金受給開始年齢を男性65歳、女性60歳に引き下げる法案を取り上げ(注:現在は2013年の法改正を受けて男女67歳に向けて受給開始年齢が段階的に引き上げられている状況)、前向きな評価を下した。ボヘネク政府報道官は、政府は本年10月1日に発効させたいと考えている旨述べた。同法案は9月に国会にて審議される予定。なお、コヴァルチク無任所大臣は、年金受給者年齢引き下げ法案が成立すれば2017年は56億ズロチ、それ以降は年間100億ズロチの歳出が見込まれると発言している。

マクロ経済動向・統計

中央銀行の経済分析【15日】

中央銀行(NBP)が22名の専門家に対して行った調査の結果によれば、ポーランド経済の成長率は2016年と2017年は3.4%、2018年は3.3%となる見通し。インフレ率は現在の-0.5%から2017年は1.4%、2018年は1.9%とデフレが改善するとともに、政策金利は2017年は1.56%に引き上げられるとの見通し。

フィッチ社はポーランドの格付け維持【15日】

15日、フィッチ社は、ポーランドの外貨建及び現地通貨建長期債務不履行評価(IDR)をそれぞれ「A-」と「A」に、また格付け見通しを「安定的」に据え置くことを発表。その理由として、マクロ経済のファンダ

メンタルズが堅調なこと、法と正義(PiS)現政権の選挙期間中の公約の内、スイスフラン建て住宅ローンの全てをズロチ立てにするとした論争を呼ぶものが実現に至っていないこと、等を挙げている。モラヴィエツキ副首相兼開発大臣は、ポーランド経済の方向性が国際的にも問題ないことが受け入れられた証明と評価している。

6月の平均賃金上昇率【18日】

中央統計局(GUS)によれば、6月の平均賃金上昇率は対前年同月比5.3%増、対前月比2.1%増。2015年の平均賃金上昇率(3.5%)から上昇を続けている。6月の就業率は対前年同月比3.1%、対前月比0.3%。

ポーランド産業動向

外国在住ポーランド人による送金額が拡大(2016年第一四半期)【14日】

中央銀行によれば、今年第一四半期の外国在住ポーランド人からのポーランド国内への送金額は、前年同期比1.7%増の38億ズロチとなった。主に長期在住者からの送金の増加が大きく同2.2%増であった。短期滞在者については所得は増えたものの支出も同様に拡大したため、送金額の変化はなかったという。最大の送金元は独で13億ズロチ、第二位は英国で11億ズロチであり、英国からの伸びが大きかった。

Solaris社がインド企業とバス生産合弁会社立ち上げへ【15日】

ポーランドのバス製造会社である Solaris社はインドの JBM Auto社と電気バス、ハイブリッド型のバスを生産する合弁会社をインドで設立することに合意した。合意内容の詳細については明らかになっていないが、今年2月に両社は新たな電気バスのコンセプト

トとして、1回の充電で150-200km走行(10-15時間)する電気バスを発表している。

ポーランドのイノベーション能力評価【15日】

欧州委員会は、EU及び周辺国(イスラエル、スイス、ノルウェー、ウクライナ等)における研究開発やイノベーション能力を指標化し比較した今年度版報告書である「European Innovation Scoreboard 2016」を発表した。この中でポーランドは前年より順位を一つ上げ23位となったが、EU平均より低い評価となった。報告書では、特に中小企業における起業と連携(Linkage & entrepreneurship)、研究データの充実度(Open, excellent and attractive research systems)が低いと指摘している。今回の結果に関し、エミレヴィツ開発副大臣は、政府の施策によりポーランドのイノベーションが大きく進展すると述べ、その例として法改正によりイノベーションへの投資をしやすくすることを挙げた。

エネルギー・環境**大統領が燃料輸入のVAT徴収強化に向けた新法に署名【16日】**

ドゥダ大統領は、燃料輸入にかかる付加価値税(VAT)の徴収を強化するための新法へ署名した。この法律により、EU域内での燃料輸入にかかるVATをポーランド域内到着後5日以内に納めることとなったほか、燃料貿易の許可がポーランドに拠点若しくは登録のある事業者にのみ与えられることとなった。法律は8月1日より施行され、財務省によれば、25

億ズロチの増収を見込んでいるという。

PGE・EJ1社チホシュCEOが辞任【20日】

20日のTVN24電子版等は、当地原子力発電所建設計画を担うPGE・EJ1社が、2014年6月よりCEOの職にあったチホシュ氏の12日付けの辞職を発表した旨報じている。理由等については明らかにされていない。後任については未定。

大使館からのお知らせ**ポーランド:世界青年の日開催に伴う注意喚起**

ポーランドでは、マウオポルススキェ県クラクフ市で「世界青年の日」(7月26日から31日)が開催される予定です。詳しくは下記リンク先をご参照ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?id={%countrycd%}&infocode=2016C183>

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い)を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】手まりワークショップ【22日(金), 23日(土)】

ピヴニチナ・ズドリイ市にて、ピヴニチナ市発展の会主催による『手まりワークショップ』が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, ピヴニチナ・ズドリイ市, ul. Zagrody 24B

詳細: <https://www.facebook.com/Towarzystwo-Rozwoju-Piwnicznej-684306148327189/>

【開催中】ポーランド日本情報工科大学の学生による展覧会【7月13日(水)～8月31日(水)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、ポーランド日本情報工科大学(PJATK)新メディアアート学部の2年生による展覧会「ポーランド語による日本の昔話・神話」が開催中です。入場無料。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】野外日本映画上映会【8月11日(木) 21時～】

ワルシャワにて、日本映画の野外上映会が開催され、山崎貴監督作品『ALWAYS 三丁目の夕日 '64』(2012年)が上映されます(日本語音声, ポーランド語字幕)。入場無料。

開催場所: ワルシャワ市 Pl. Defilad (文化科学宮殿前の広場)

詳細: <http://www.kinoteka.pl>

【予定】アニマツリ2016【7月29日(金)～31日(日)】

ワルシャワにて、日本の大衆文化愛好家協会「アニマツリ」主催による日本文化紹介イベント『アニマツリ2016』が開催されます。コスプレの他に、日本の伝統的な音楽や舞踊、日本に関する講座、ワークショップ、コンテスト等が予定されています。

開催場所: ワルシャワ市 Centrum Konferencyjno-Szkoleniowe, ul. Bobrowiecka 9

詳細: <http://festiwal.animatsuri.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 newsmai@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmai@wr.mofa.go.jp)(ご連絡は電子メールでお願いします。)